

めぐみの学校の子

恵田小

校長室だより
令和元年六月七日

No. 130

本を子供に近づける

寄付による児童用の本と、本棚がそろった。配置ができ、あとは、整理するだけとなった。ありがたいことに、児童用の図書を購入し、寄付したいという話があり、本の選定・注文・受け入れ、本棚の注文を学校でさせていただいた。本の選定においては、本校読み聞かせボランティア「そよ風の会」の方に多大なご協力をいただいた。

きのう、校長室前の廊下に本棚を設置し、ざっとであるが、本を並べた。整理をし、月曜日の図書集会で話をしたあと、児童への貸し出し等を開始したい。楽しみだ。

きのう、寄贈された本棚が納品され、本を並べると、早速興味を持った恵田っ子が、校長室廊下で足を止めた。うれしい反応である。読書は、テレビやゲームよりも「自ら進んで」という面が強い。本を選び、手に取り、読むというエネルギーが必要である。本の世界へいざなうというまわりの大人のはたらきかけは、そのエネルギーになる。今回のことを、子供を本に近づける大きな一歩としたい。

今回選定した本は、短い時間で読めるものが中心で、読み聞かせにもよい。恵田っ子が手に取るとともに、教職員が読み聞かせをする際にも活用していく。「そよ風の会」の方の読み聞かせの本としても使っていただく予定である。恵田っ子だけでなく、多くの人に関わる本となることも、子供たちが本を身近に感じることにつながるだろう。



恵田っ子へ

それぞれの活動（かつどう）で

先週（せんしゅう）は、三年生（さんねんせい）の野鳥観察（やちようかんさつ）、六（ろく）年生のコンニャクイモ・ジネンジョの植（う）えつけ、三（さん）四（よ）年生のキウイの授粉作業（じゅふんさぎょう）がありました。

今週（こんしゅう）は五（ご）年生は山（やま）の学習（がくしゅう）（かくしゅう）のための岡唄交流（おかろうこうりゅう）、火（ひ）をつけての火舞練習（ひまいれんしゅう）、一・二年生は学区探検（がくけん）、六年生はぶどうの世話（せわ）がありました。

それぞれの学年の活動（かつどう）・栽培（さいばい）（さいばい）それぞれに目標（もくひよう）（もくひよう）があります。それぞれ（それぞれ）の活動（かつどう）や栽培（さいばい）を成功（せいこう）（せいこう）させるだけでなく、その活動（かつどう）や栽培（さいばい）にかかわるいろいろなこと（こと）を知（し）り、そして、一人一人（ひとりひとり）が成長（せいちょう）（せいちょう）することも大切（たいせつ）な目標（もくひよう）です。

